

神戸で舞い遊ぶ神々

みやざきの

神楽

2018年
7月21日(土)

PM1:00~5:30

神戸ポートオアシス

KOBE PORTOASIS

入場無料

定員400名

(要事前申込。定員になり次第締切)

- 基調講演 ○廣川 晶輝 氏 (甲南大学教授) ◎大館 真晴 氏 (宮崎県立看護大学教授)
- みやざきの神楽公演 大河内神楽 (宮崎県椎葉村、国指定重要無形民俗文化財)

主催 / 宮崎県

共催 / 椎葉村

後援 / 神戸市 神戸市教育委員会

MIYAZAKI KAGURA

神戸公演2018

宮崎県には200を超える地域に伝統神事芸能「神楽」が継承されています。
神楽は、その地の暮らしや周囲の自然にも影響を受けながら、多様な姿を創り出してきました。
宮崎県椎葉村に伝わる大河内神楽の息吹を神戸の地でたっぷりと感じてください。

オープニング

神戸市登録無形民俗文化財 南僧尾(みなみそお)神楽獅子

南僧尾神楽獅子は、神戸市北区淡河町南僧尾に伝承されている獅子舞で、現在は南僧尾神楽獅子保存会が継いでいます。15～16世紀頃、南僧尾に住み、代々松尾神社の神官を務めていた能の一派・福王家の家元の子孫である福王但馬守盛忠が天正の頃に神楽獅子をつくり、松尾神社に奉納したのが起こりとされ、現在は、毎年敬老の日前(日曜日)に飯島神社で開催される「南僧尾神楽獅子奉納祭」で7つの舞が奉納されます。
雄獅子特有の荒々しく勇壮な舞が特徴で、獅子のほかに「お多福」「猿」の面をつけた獅子あやしが登場するユーモラスな演目や、「荒獅子」と呼ばれる激しい所作などに大きな歓声があがります。



第一部 講演

神戸に伝わる万葉悲恋の歌

北海道大学大学院文学研究科博士後期課程国文学専攻修了、博士(文学)。主な著書に『万葉歌人伴家持一作品とその方法』(北海道大学図書刊行会)、『南大阪の万葉学』(共著、大阪公立大学共同出版会)、『死してなお求める恋心―「菟原娘伝説」をめぐる一』(新典社)、『山上憶良と伴旅人の表現方法―和歌と漢文の一体化―』(和泉書院)。



甲南大学教授
廣川 晶輝氏

記紀神話と神楽歌～日向神話を中心に～

國學院大学大学院文学研究科日本文学専攻博士課程後期修了、博士(文学)。奈良県立万葉文化館研究協力員。主な著書に『日本書紀の作品論的研究―人物造形のあり方を中心に―』(國學院大学大学院研究叢書)、『日本書紀【歌】全注釈』(共著、笠間書院)、『日本書紀と古代天皇の謎』(共著、株KADOKAWA)など。



宮崎県立看護大学教授
大館 真晴氏

第二部 神楽公演

国指定重要無形民俗文化財 椎葉・大河内神楽 (しいば・おおかわうちかぐら)

九州脊梁山地の懐深く、日本三大秘境の1つともいわれる宮崎県椎葉(しいば)村には、26の集落に神楽が伝承されており、総称して「椎葉神楽」と呼んでいます。集落毎に11月中旬～12月下旬にかけて夜通し行われる神楽は、地元では「冬祭り」「年祭り」とも呼ばれ、椎葉の村人にとって1年を締めくくる大切な祭りです。集落毎に舞や衣装、太鼓の調整も多種多様であり、舞の1つ1つが昔のままの態様を残していることから、椎葉神楽は、平成3年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

大河内(おおかわうち)神楽は、椎葉村南西部の大河内地区に伝わる神楽で、椎葉神楽の中でも最も古い形を留めているともいわれます。御神屋(みこうや、神楽の舞場)には、太陽と月が描かれた「くも」と呼ばれる可動式の丸い天蓋があり、囃子にあわせて激しく揺り動きます。くもを揺り動かすのは、各地で継承されている神楽の中でも非常に珍しく、大河内神楽の特色といえます。また、神前に猪や鹿の肉を切り分け捧げる「板起こし」など、狩猟儀礼に関わる演目が多いのも特色です。4年に1度、大河内八幡神社で行われる『注連の願(しめのがん)』では、裏で編んだ大蛇が登場する舞等の特別な演目が追加されたり、特殊な飾付けがされたりすることでも知られています。



7/21土 みやざきの神楽 神戸公演2018 FAX申込書

送信先 FAX.078-333-2830

フリガナ	電話番号 ()	希望枚数 枚 (4名まで) 同行者名をご記入下さい。
お名前	FAX番号 ()	
〒 ご住所		
車椅子の利用 いずれかを○で囲んで下さい。	☐ いる ☐ いない	メール アドレス @

申込方法

公演名を必ず
ご記入ください。

●先着順受付●

定員に達し次第、締切。

①公演「みやざき神楽」②お名前(フリガナ)③郵便番号④ご住所⑤電話番号⑥メールアドレス又はFAX番号⑦車椅子の要不要⑧希望人数(4名以内)※複数枚の場合は同行者氏名を記載 以上を明記の上、下記のいずれかでお申し込み下さい。※申込者には入場整理券(1名につき1枚)を送付いたします。

■ハガキの場合 〒650-0041 神戸市中央区新港町5-2 神戸ポートオアシス3階

みやざき神楽神戸公演2018事務局(有限会社ワン・ワールド・ジャパン内)

■FAXの場合 FAX 078-333-2830 ■メールの場合 miyazaki.kagura.kobe2018@gmail.com

■お電話の場合 TEL 078-333-2822(神戸ポートオアシス)

■webの場合 <http://eventregist.com/e/miyazakikagura>



スマホでのお申し込み

お問い合わせ みやざき神楽神戸公演2018事務局 TEL 078-391-5533(有限会社ワン・ワールド・ジャパン)